

企業価値向上に向けた取り組みに関するアンケート 集計結果（2018年度版）

企業・投資家の結果比較※

※企業と投資家双方に実施している設問のみを抽出し、結果の比較を行ったものです。
※無回答を除いた有効回答数で算出しております。
※比較の都合上、企業・投資家それぞれのアンケート資料と本資料とでは、選択肢が異なる設問があります。

1. コーポレート・ガバナンスに関して今後取り組みを強化する事項（企業） ／強化を期待する事項（投資家）

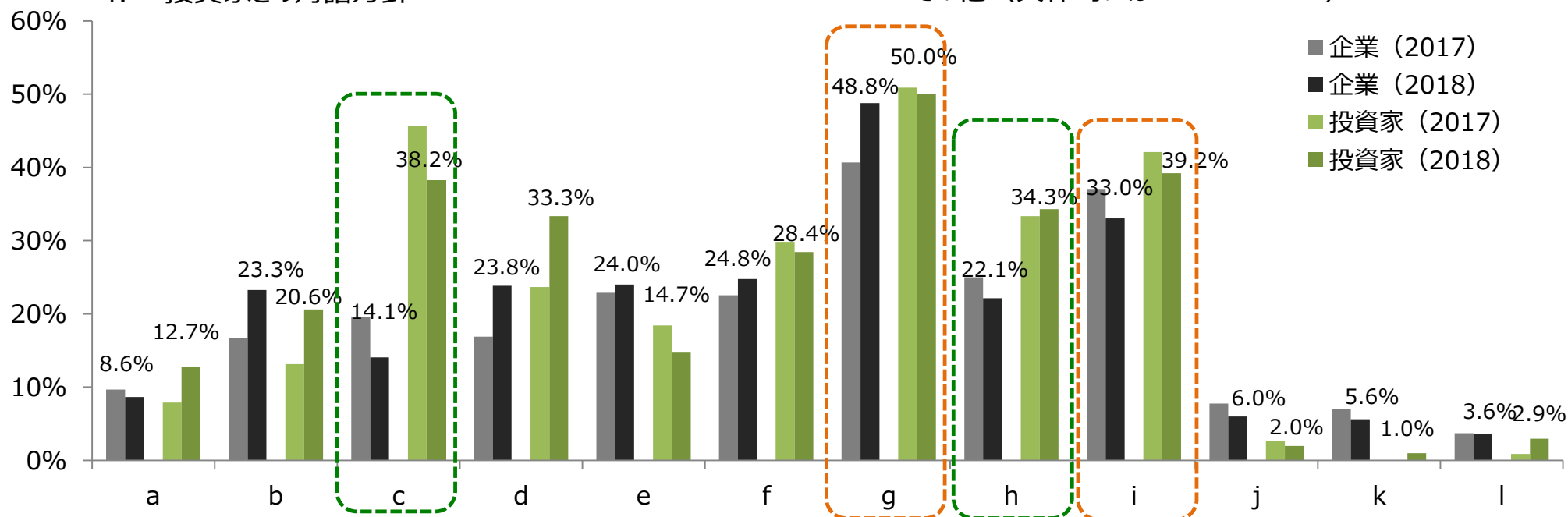
高い水準で一致

「経営計画・経営戦略」「取締役会の実効性の評価」

認識ギャップ大【企業<投資家】

「独立した社外役員」「情報開示」

- a. 機関設計
- b. 取締役会の人数・構成
- c. 独立した社外役員
- d. 経営幹部の指名手続き
- e. 役員報酬決定体系
- f. 投資家との対話方針
- g. 経営計画・経営戦略
- h. 情報開示
- i. 取締役会の実効性の評価
- j. 株主総会運営
- k. 特段なし
- l. その他（具体的には



(回答数【企業】:2018年度:533, 2017年度:568)

(回答数【投資家】:2018年度:102, 2017年度:114)

2. 取締役会の実効性向上に向けて、課題に感じていること（企業・投資家）

認識ギャップ大【企業＞投資家】

「上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実」

「取締役会議題の事前説明の充実」

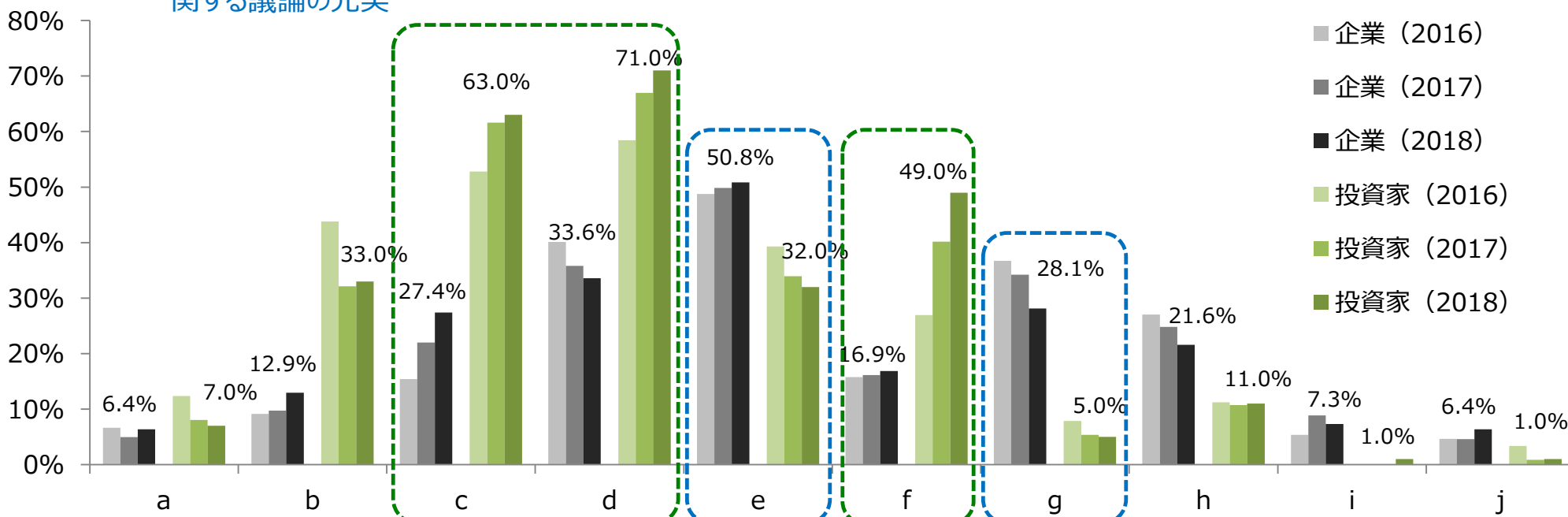
認識ギャップ大【企業＜投資家】

「社外役員が機能発揮できる環境整備」「取締役会全体の経験や専門性のバランス」

「投資家意見の取締役会へのフィードバック」

- a. 機関設計
b. 社外役員の拡充
c. 取締役会全体の経験や専門性のバランス
d. 社外役員が機能発揮できる環境整備
e. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実

- f. 投資家意見の取締役会へのフィードバック
g. 取締役会議題の事前説明の充実
h. 取締役会に対するトレーニング
i. 特段なし
j. その他（具体的には ）



(回答数【企業】:2018年度:533, 2017年度:564, 2016年度:558)

(回答数【投資家】:2018年度:100, 2017年度:112, 2016年度:89)

3. 取締役会の議題として重点的に取り上げたいテーマ（企業） ／取り組むべきテーマ（投資家）

高い水準で一致

「経営戦略立案」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

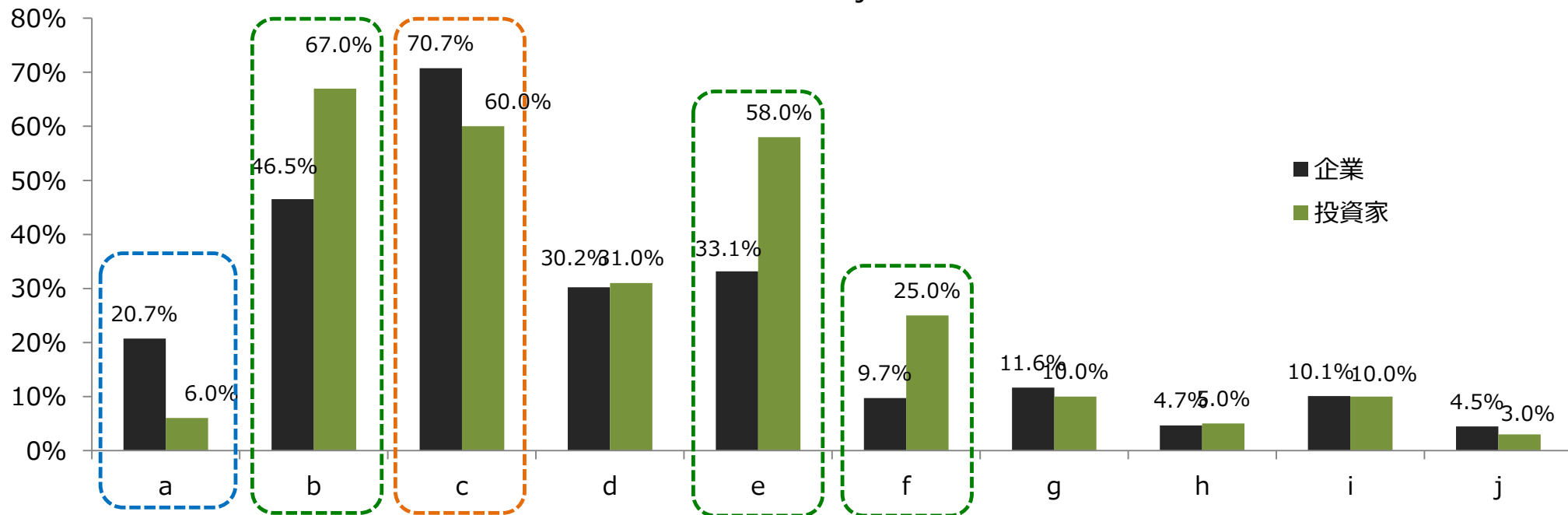
「決算・業績の進捗・振り返り」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「経営目標・指標の適切性」「コーポレート・ガバナンス体制」「投資家との対話内容」

- a. 決算・業績の進捗・振り返り
- b. 経営目標・指標の適切性
- c. 経営戦略立案
- d. リスク管理
- e. コーポレート・ガバナンス体制

- f. 投資家との対話内容
- g. コンプライアンス関連
- h. 役員報酬
- i. 人事・人材管理
- j. その他（具体的には



※複数選択から3つまで選択可へ変更

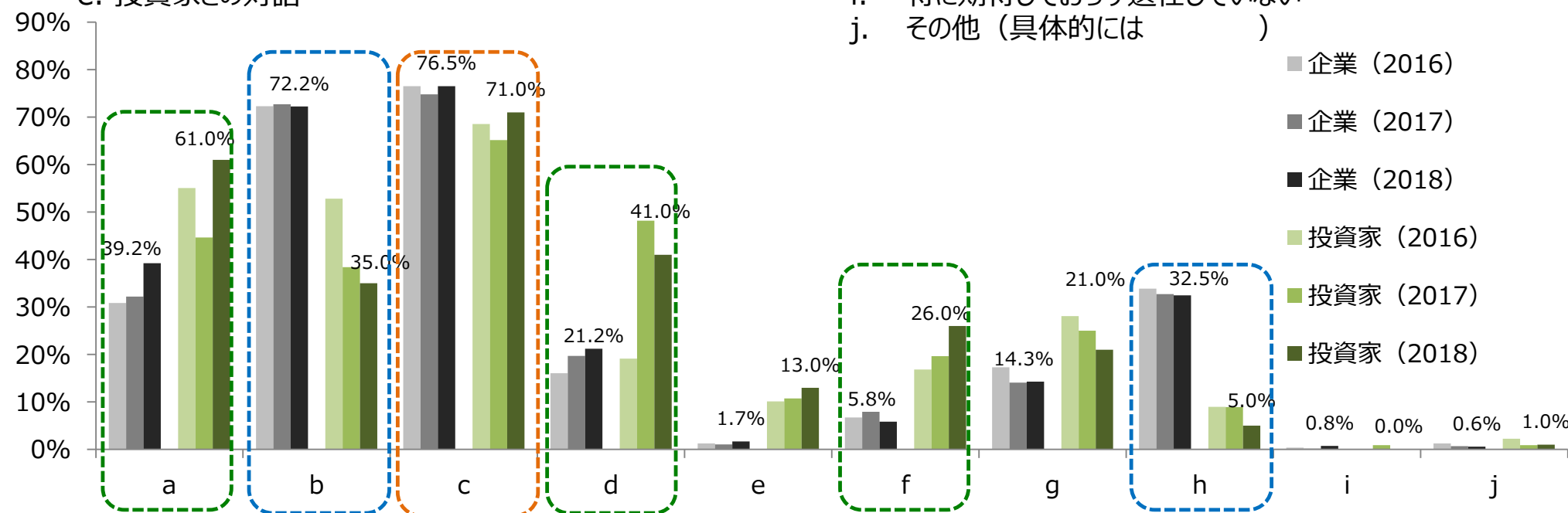
(回答数【企業】:2018年度:516)

(回答数【投資家】:2018年度:100)

4. 社外取締役に期待する役割（企業・投資家）

高い水準で一致	「経営戦略、重要案件等に対する意思決定を通じた監督」
認識ギャップ大【企業>投資家】	「経営執行に対する助言」「会計や法律等専門家としての助言」
認識ギャップ大【企業<投資家】	「経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言」 「不祥事の未然防止に向けた体制の監督」「利益相反行為の抑止」

- a. 経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言
- b. 経営執行に対する助言
- c. 経営戦略、重要案件等に対する意思決定を通じた監督
- d. 不祥事の未然防止に向けた体制の監督
- e. 投資家との対話
- f. 利益相反行為の抑止
- g. 少数株主をはじめとするステークホルダーの意見を経営に反映
- h. 会計や法律等専門家としての助言
- i. 特に期待しておらず選任していない
- j. その他（具体的には ）



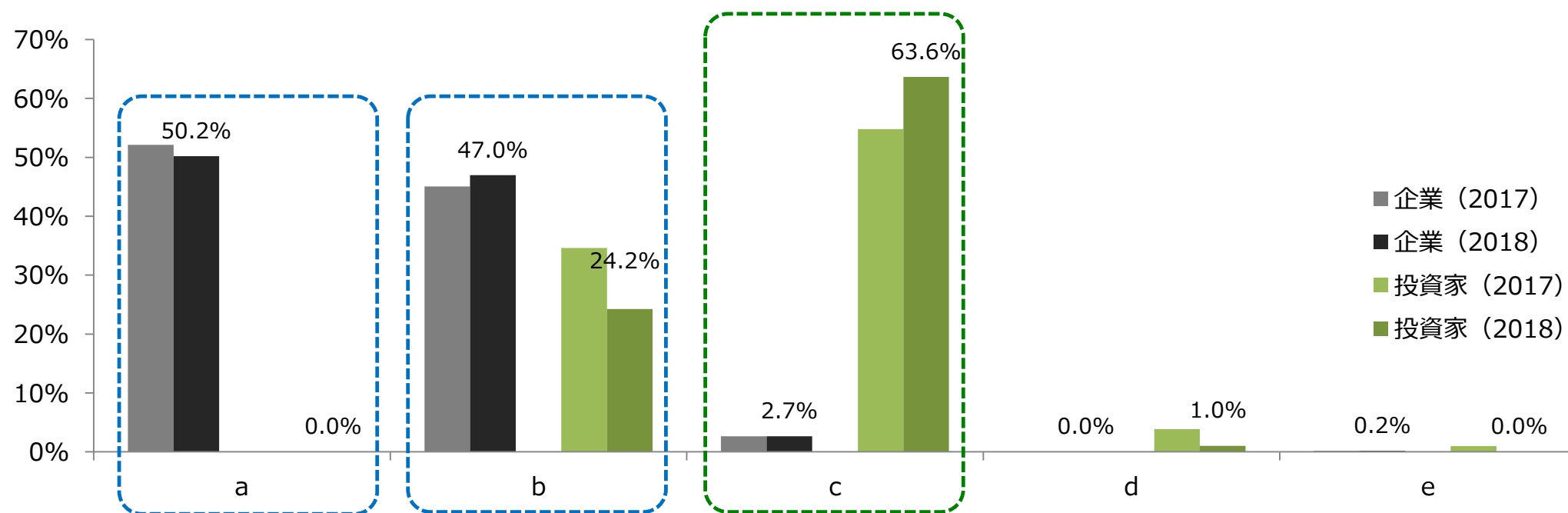
(回答数【企業】:2018年度:533, 2017年度:568, 2016年度:567)
 (回答数【投資家】:2018年度:100, 2017年度:112, 2016年度:89)

5. 社外取締役に期待している役割が現状果たされているか（企業・投資家）

認識ギャップ大【企業＞投資家】 「期待どおり十分に果たされている」「一定程度果たされている」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「不十分であり、改善の余地がある」

- a. 期待どおり十分に果たされている
- b. 一定程度果たされている
- c. 不十分であり、改善の余地がある
- d. 全く果たされていない
- e. その他（具体的には）



(回答数【企業】:2018年度:528, 2017年度:566)

(回答数【投資家】:2018年度:99, 2017年度:109)

※投資家のみを選択肢である「e.投資家からは評価できない」を削除し、「f.その他」をe.に繰り上げた

6. 社外取締役の機能発揮に関する取り組み（企業） ／期待する取り組み（投資家）

高い水準で一致

「社外取締役の独立性の確保」

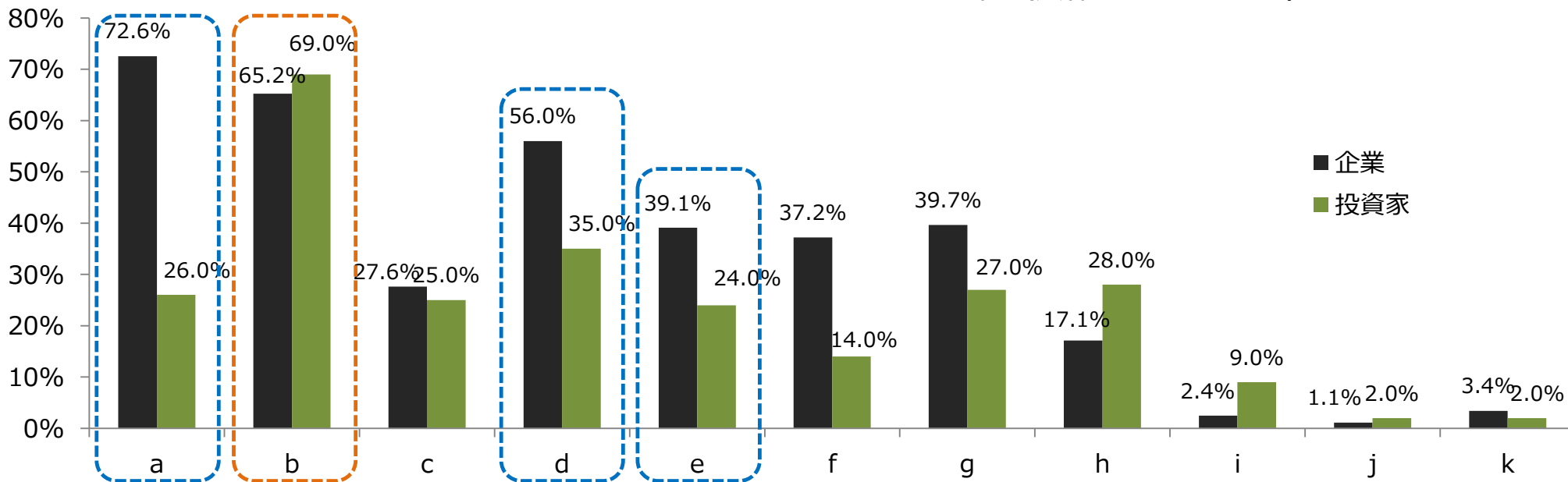
認識ギャップ大【企業＞投資家】

「社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実」

「社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施」

「社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施」

- a. 社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実
- b. 社外取締役の独立性の確保
- c. 社外取締役の経営会議・執行役員会議等への出席
- d. 社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施
- e. 社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施
- f. 経営理解促進を目的とした取り組みの実施
- g. 指名・報酬等の検討を行う諮問委員会の活用
- h. 社外取締役の取締役会における比率向上
- i. 投資家との対話
- j. 特段なし
- k. その他（具体的には ）



(回答数【企業】:2018年度:532)

(回答数【投資家】:2018年度:100)

※投資家は、複数選択から3つまで選択可へ変更

7. 社外取締役の人数・比率について望ましい水準（企業・投資家）

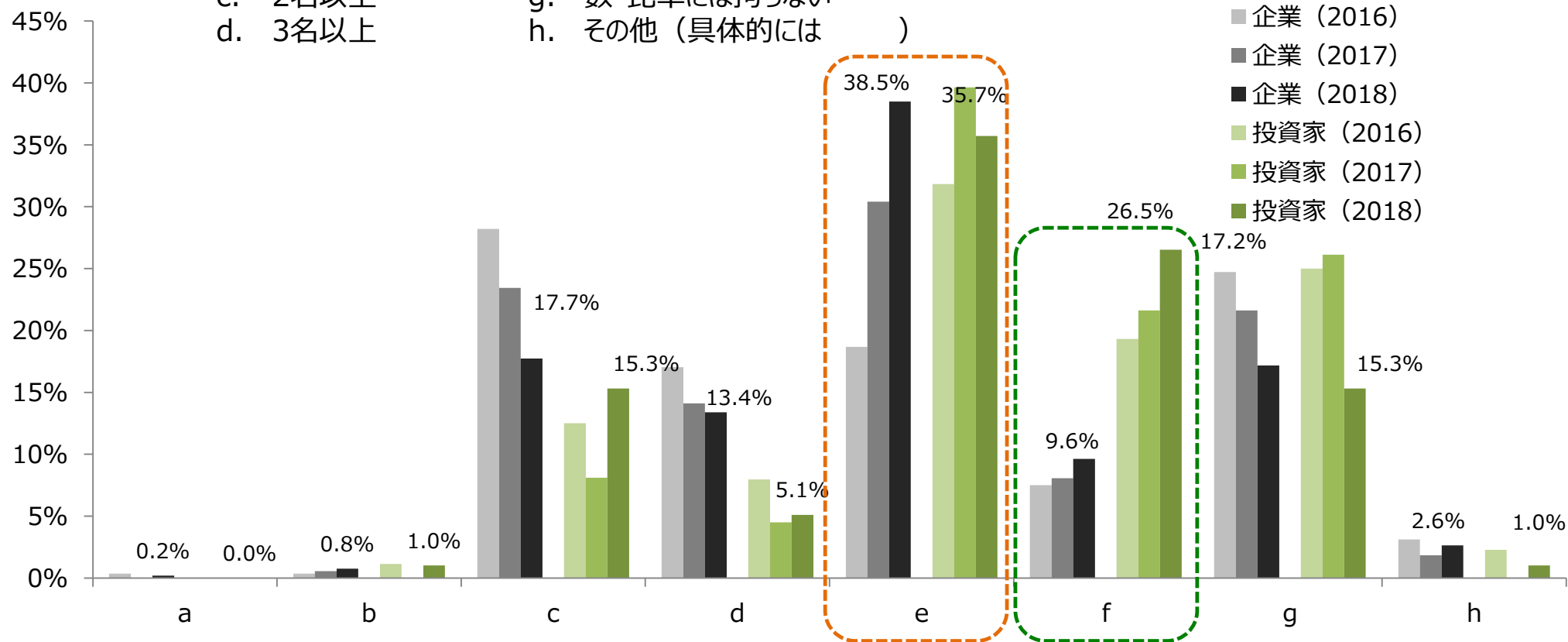
高い水準で一致

「取締役会の1/3以上」

認識ギャップ大【企業<投資家】

「取締役会の1/2以上」

- a. 0名
 b. 1名以上
 c. 2名以上
 d. 3名以上
 e. 取締役会の1/3以上
 f. 取締役会の1/2以上
 g. 数・比率には拘らない
 h. その他（具体的には）



(回答数【企業】:2018年度:530, 2017年度:553, 2016年度:546)

(回答数【投資家】:2018年度:98, 2017年度:111, 2016年度:88)

8. 中期経営計画の指標（企業） ／経営目標として重視すべき指標（投資家）

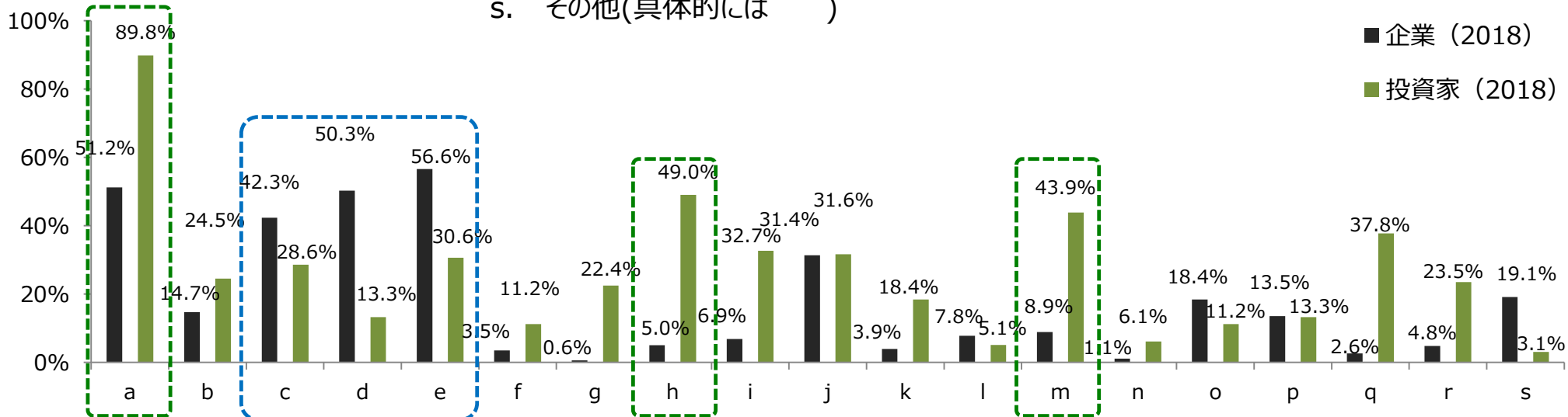
認識ギャップ大【企業＞投資家】

「利益額・利益の伸び率」「売上高・売上高の伸び率」「売上高利益率」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「ROE」「ROIC」「総還元性向」

- a. ROE（株主資本利益率）
- b. ROA（総資本利益率）
- c. 売上高利益率
- d. 売上高・売上高の伸び率
- e. 利益額・利益の伸び率
- f. 市場占有率（シェア）
- g. 経済付加価値（EVA®）
- h. ROIC（投下資本利益率）
- i. FCF（フリーキャッシュフロー）
- j. 配当性向（配当／当期利益）
- k. 株主資本配当率（DOE）（DOE=ROE×配当性向）
- l. 配当総額または1株当たりの配当額
- m. 総還元性向（（配当+自己株式取得）／当期利益）
- n. 配当利回り（1株当たり配当／株価）
- o. 自己資本比率（自己資本／総資本）
- p. DEレシオ（有利子負債／自己資本）
- q. 資本コスト（WACC等）
- r. ESG取組みに関する指標（CO2排出量、女性管理職比率等）
- s. その他(具体的には)



■ 企業 (2018)
■ 投資家 (2018)

※企業のみを選択肢である「a.中期経営計画を公表しているが、KPIは公表していない」
「b.中期経営計画を公表していない」を削除し、残りの選択肢を繰り上げた
※投資家の選択肢の順に合わせた

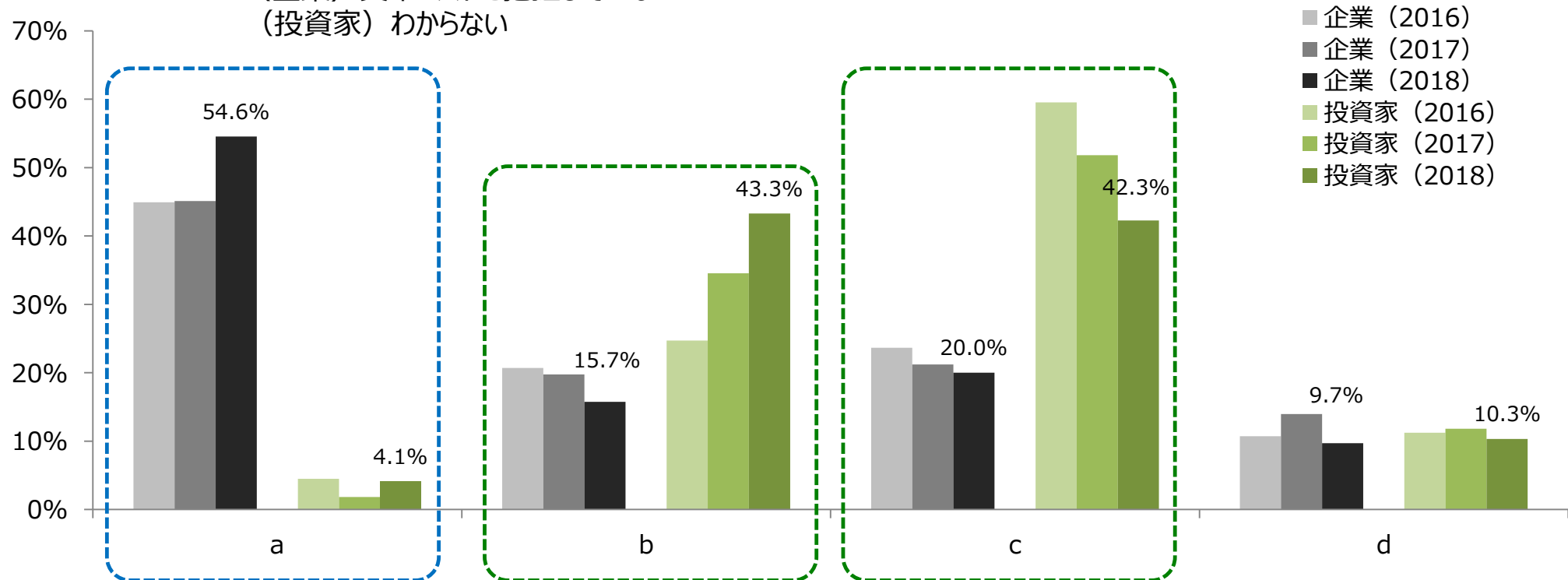
(回答数【企業】:2018年度:539)
(回答数【投資家】:2018年度:98)

9. 資本コストに対するROE水準の見方（企業・投資家）

認識ギャップ大【企業＞投資家】 「上回っている」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「同程度」「下回っている」

- a. 上回っている
- b. 同程度
- c. 下回っている
- d. （企業）資本コストを把握していない
（投資家）わからない



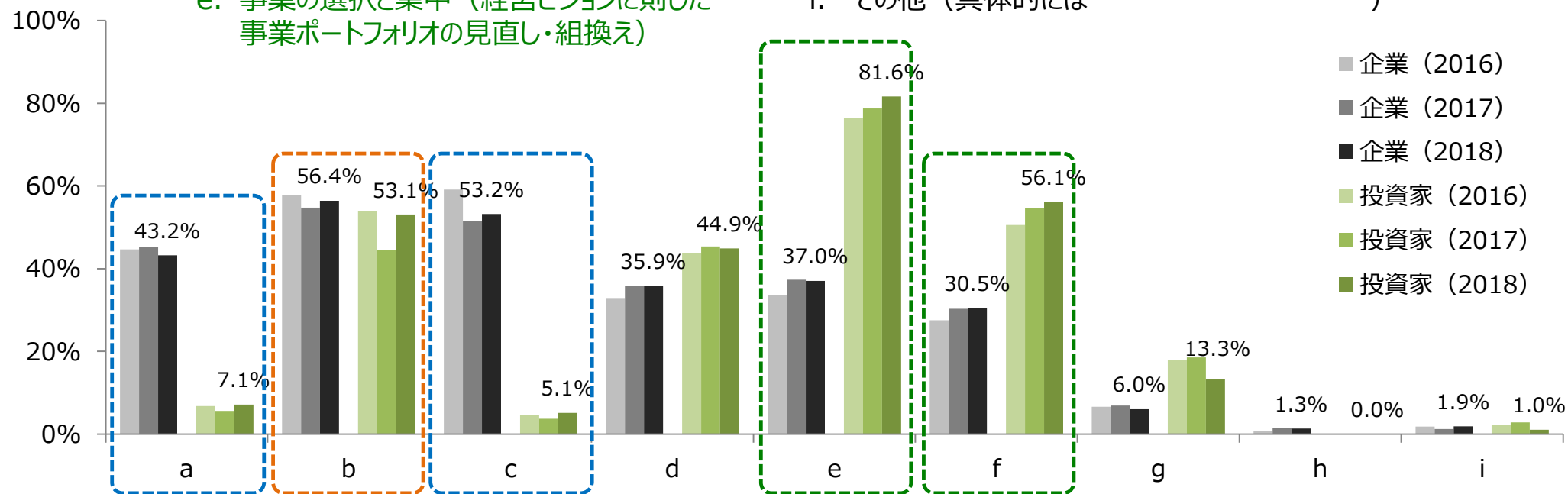
(回答数【企業】:2018年度:515, 2017年度:553, 2016年度:541)

(回答数【投資家】:2018年度:97, 2017年度:110, 2016年度:89)

10. 資本効率向上のため重視している取り組み（企業） ／期待する取り組み（投資家）

高い水準で一致	「製品・サービス競争力強化」
認識ギャップ大【企業＞投資家】	「コスト削減の推進」「事業規模・シェアの拡大」
認識ギャップ大【企業＜投資家】	「事業の選択と集中（経営ビジョンに則した事業ポートフォリオの見直し・組換え）」 「収益・効率性指標を管理指標として展開（全社レベルでの浸透）」

- a. 事業規模・シェアの拡大
- b. 製品・サービス競争力強化
- c. コスト削減の推進
- d. 採算を重視した投資
- e. 事業の選択と集中（経営ビジョンに則した事業ポートフォリオの見直し・組換え）
- f. 収益・効率性指標を管理指標として展開（全社レベルでの浸透）
- g. 借入や株主還元を通じたレバレッジの拡大
- h. 特段なし
- i. その他（具体的には）



(回答数【企業】:2018年度:532, 2017年度:568, 2016年度:560)

(回答数【投資家】:2018年度:98, 2017年度:108, 2016年度:89)

11. 自己資本・手元資金の水準についての認識（企業・投資家）

【自己資本】

認識ギャップ大【企業＞投資家】 「適正と考えている」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「余裕のある水準と考えている」

【手元資金】

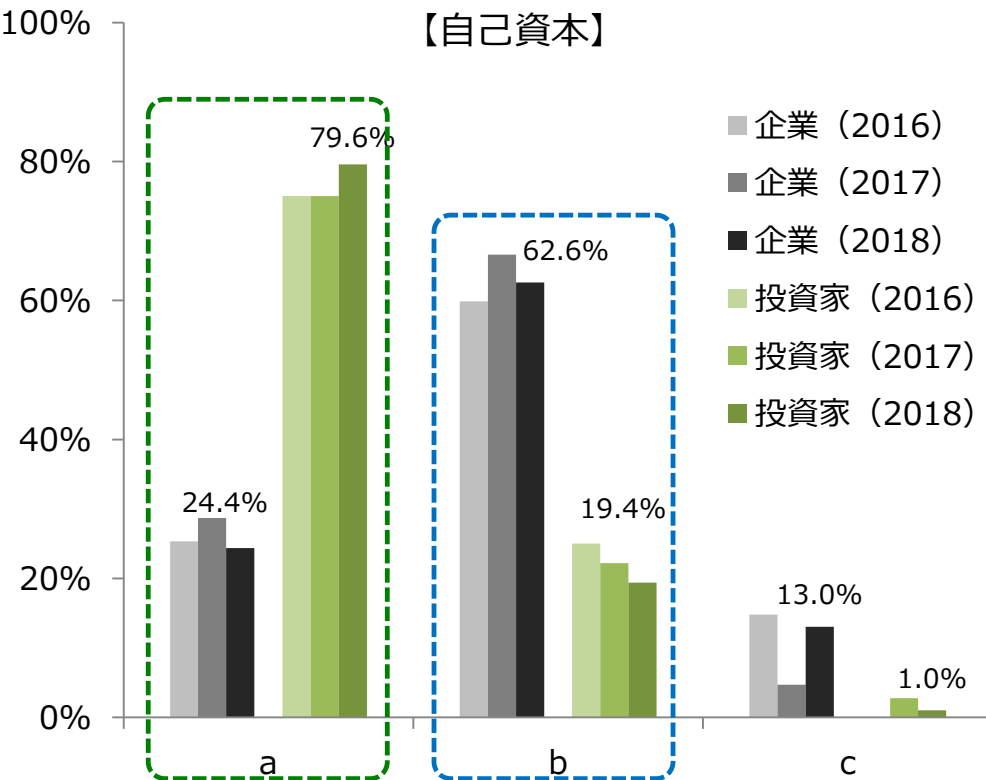
認識ギャップ大【企業＞投資家】 「適正と考えている」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「余裕のある水準と考えている」

- a. 余裕のある水準と考えている
- b. 適正と考えている
- c. 不足している

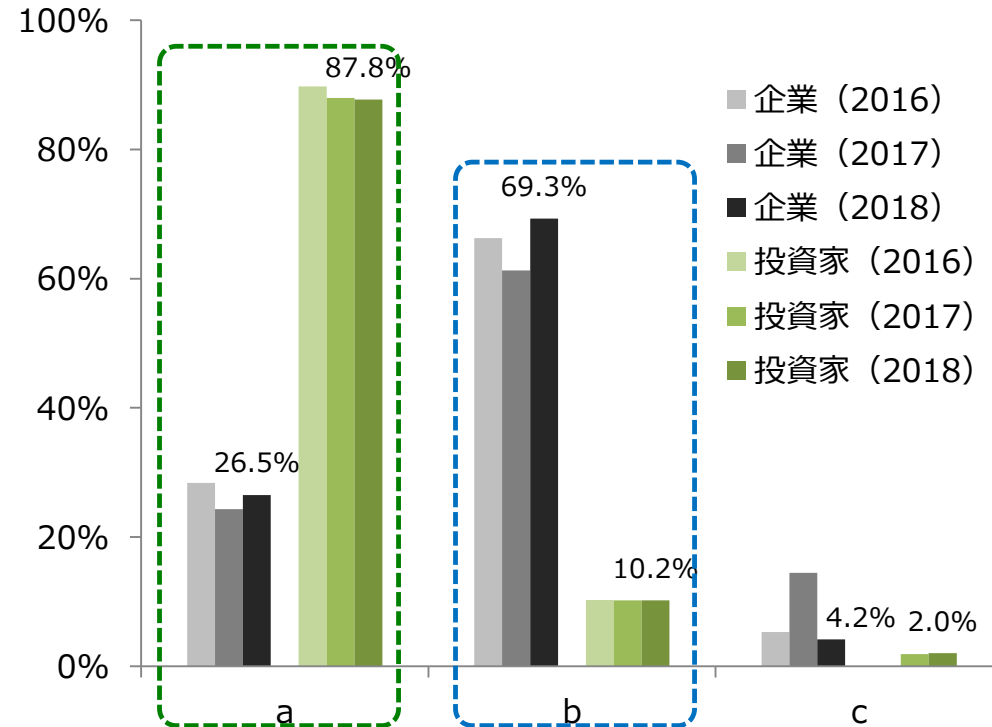
【自己資本】

【手元資金】



(回答数【企業】:2018年度:529, 2017年度:568, 2016年度:561)

(回答数【投資家】:2018年度:98, 2017年度:108, 2016年度:88)



(回答数【企業】:2018年度:528, 2017年度:554, 2016年度:546)

(回答数【投資家】:2018年度:98, 2017年度:108, 2016年度:88)

12. 投資実行時に重視する項目（企業）／重視してほしい項目（投資家）

高い水準で一致

「経営戦略との整合性」「製品・サービスの競争力強化」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

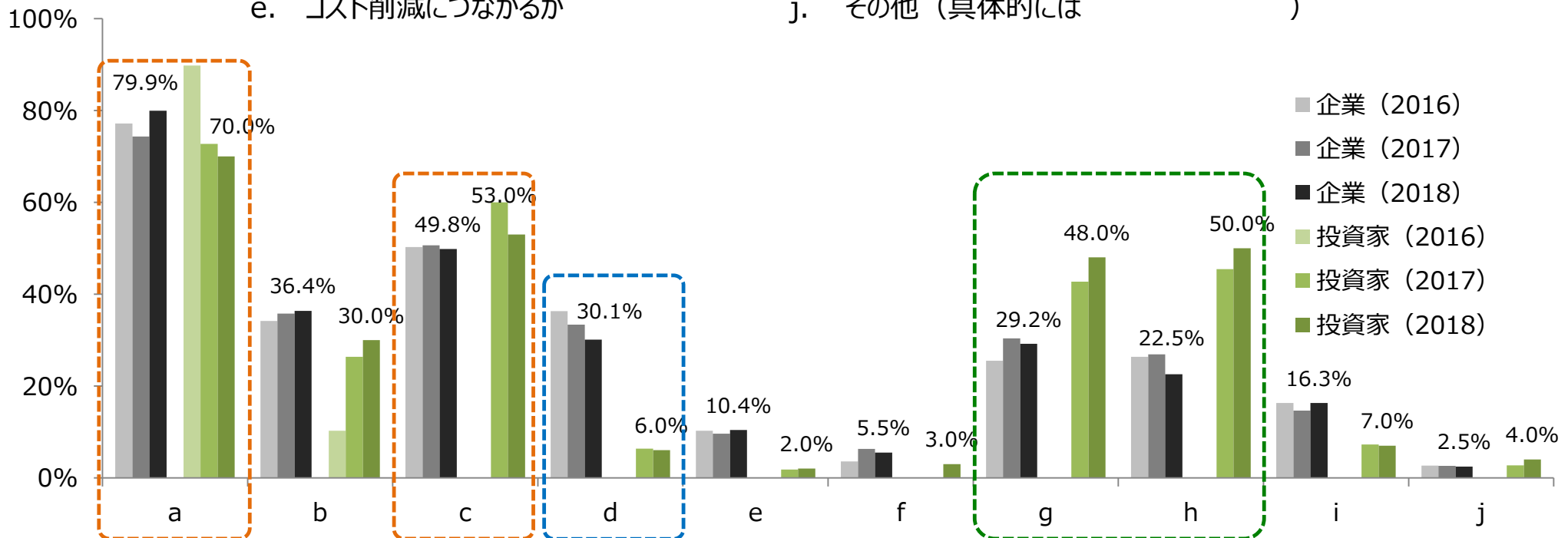
「事業規模・シェア拡大」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「将来の市場見通し」「投資リスク」

- a. 経営戦略との整合性
- b. シナジー効果
- c. 製品・サービスの競争力強化
- d. 事業規模・シェア拡大
- e. コスト削減につながるか

- f. 事業の多角化
- g. 将来の市場見通し
- h. 投資リスク
- i. 財務への影響
- j. その他（具体的には



(回答数【企業】:2018年度:528, 2017年度:573, 2016年度:565)

(回答数【投資家】:2018年度:100, 2017年度:110, 2016年度:89)

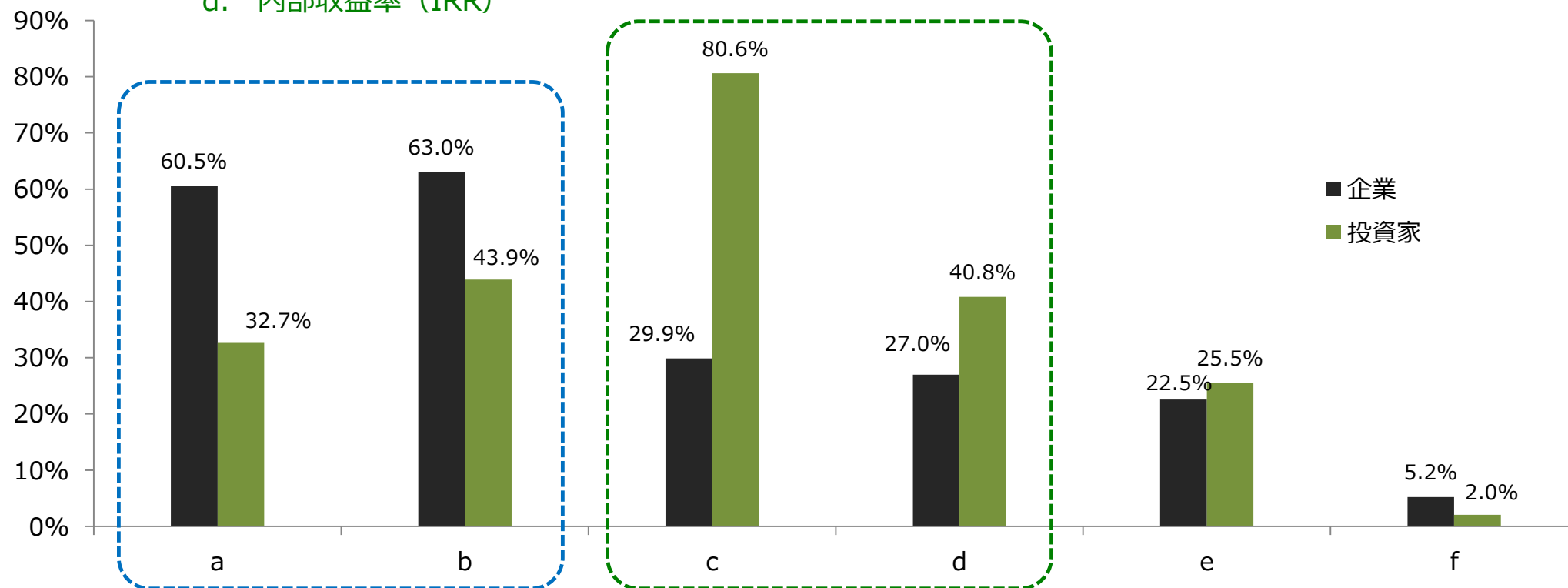
13. 投資意思決定時の判断基準の指標（企業） ／適切だと思われる指標（投資家）

認識ギャップ大【企業 > 投資家】 「売上・利益の増加額」 「事業投資資金の回収期間」

認識ギャップ大【企業 < 投資家】 「投下資本利益率（ROIC）」 「内部収益率（IRR）」

- a. 売上・利益の増加額
- b. 事業投資資金の回収期間
- c. 投下資本利益率（ROIC）
- d. 内部収益率（IRR）

- e. 正味現在価値（NPV）
- f. その他（具体的には



※複数選択から3つまで選択可へ変更

※企業にのみの選択肢である「f.判断基準は特に設定していない」を削除し、「g.その他」をf.に繰り上げた

(回答数【企業】:2018年度:519)

(回答数【投資家】:2018年度:98)

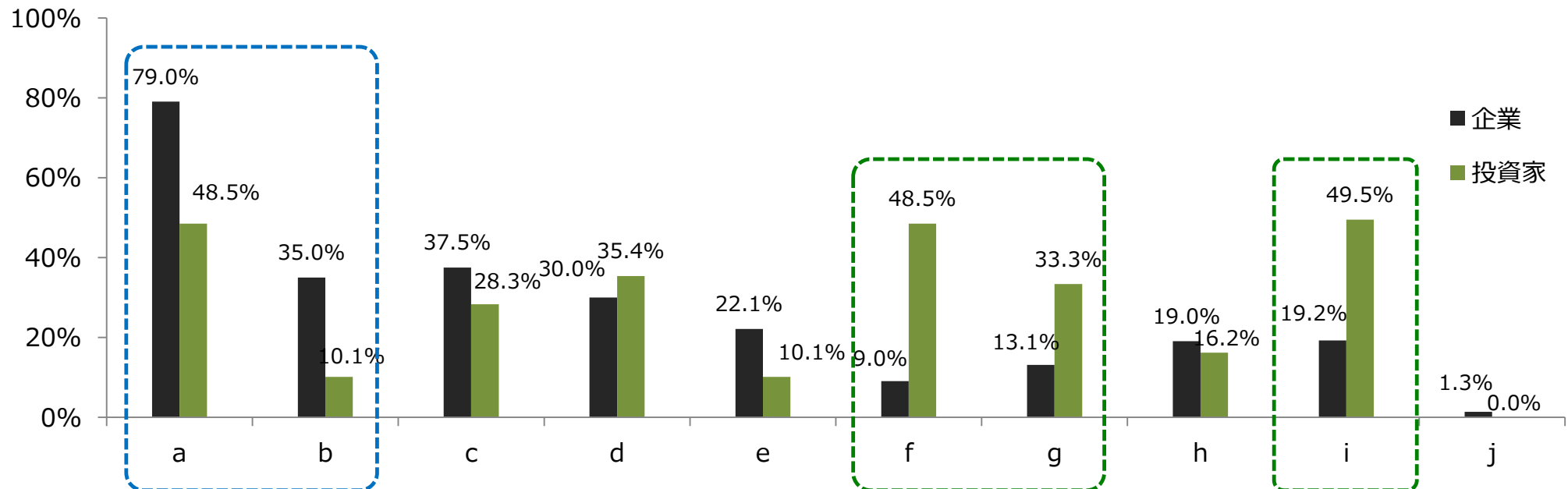
14. 投資実行時の説明として重視している内容（企業・投資家）

認識ギャップ大【企業＞投資家】 「経営計画における位置づけ」「シナジー効果」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「投資のリスク」「投資の採算性」「投資の収益化の時期」

- a. 経営計画における位置づけ
- b. シナジー効果
- c. 競争力に与える影響
- d. 投資の前提となる市場見通し
- e. 財務への影響

- f. 投資のリスク
- g. 投資の収益化の時期
- h. 投資の収益貢献額
- i. 投資の採算性
- j. その他（具体的には ）



(回答数【企業】:2018年度:520)

(回答数【投資家】:2018年度:99)

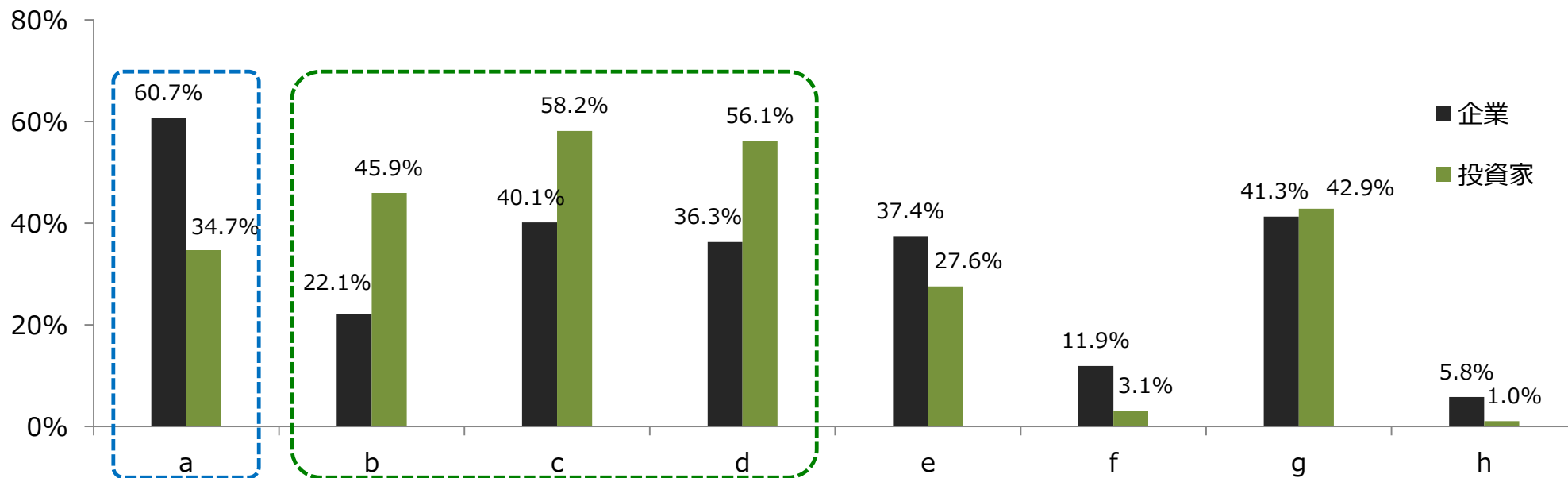
15. 中長期的な投資・財務戦略の重要項目（企業） ／重視すべき項目（投資家）

認識ギャップ大【企業＞投資家】 「設備投資」

認識ギャップ大【企業＜投資家】 「人材投資」「IT投資」「研究開発投資」

- a. 設備投資
- b. IT投資
- c. 研究開発投資
- d. 人材投資
- e. M&A

- f. 有利子負債の返済
- g. 株主還元
- h. その他（具体的には ）



※複数選択から3つまで選択可へ変更

※企業のみを選択肢である「h.特に決まっていない」を削除し、「i.その他」をh.に繰り上げた

(回答数【企業】:2018年度:521)

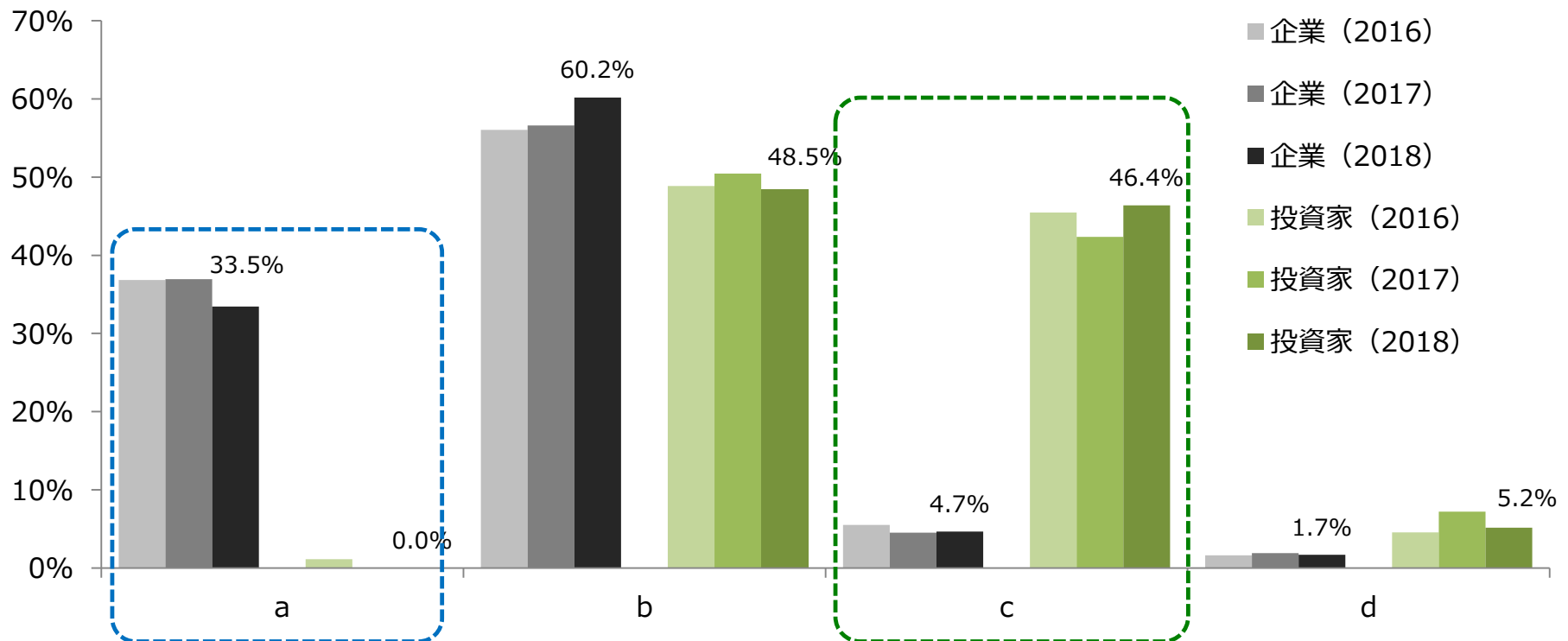
(回答数【投資家】:2018年度:98)

16. 株主還元・配当政策に関する説明（企業・投資家）

認識ギャップ大【企業 > 投資家】 「十分行っている」

認識ギャップ大【企業 < 投資家】 「あまり行っていない」

- a. 十分行っている
- b. 一定程度行っている
- c. あまり行っていない
- d. ほとんど行っていない



(回答数【企業】:2018年度:535, 2017年度:574, 2016年度:562)

(回答数【投資家】:2018年度:97, 2017年度:111, 2016年度:88)

17. 株主還元の適切性について説明する観点（企業） ／ 評価する観点（投資家）

高い水準で一致

「総還元性向・配当性向の水準」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

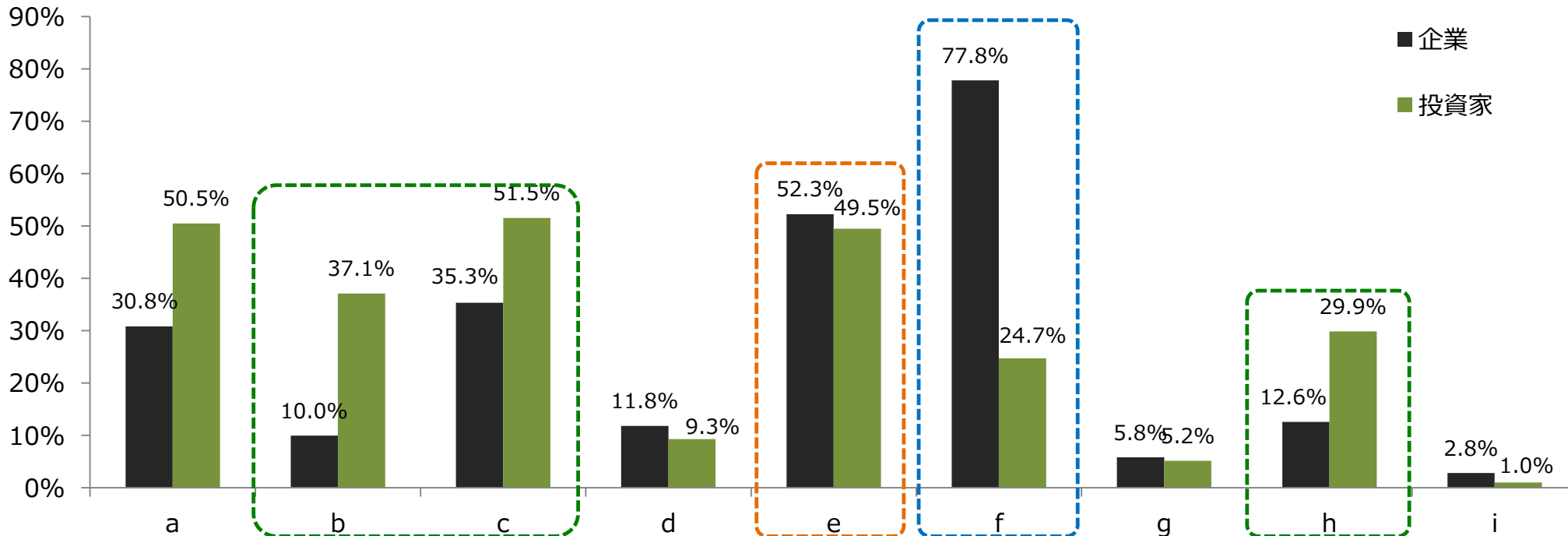
「株主還元・配当の安定性」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「余剰資金を抱えているかどうか」「ROEの水準」「事業の成長ステージ」

- a. 投資機会の有無
- b. 余剰資金を抱えているかどうか
- c. 事業の成長ステージ
- d. 資本構成
- e. 総還元性向・配当性向の水準

- f. 株主還元・配当の安定性
- g. 株価推移
- h. ROEの水準
- i. その他（具体的には）



(回答数【企業】:2018年度:532)

(回答数【投資家】:2018年度:97)

※投資家は、複数選択から3つまで選択可へ変更

18. 対話を経てアクションをとった論点（企業） ／対話で効果を感じている論点（投資家）

高い水準で一致

「情報開示」「株主還元」「経営戦略・事業戦略」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

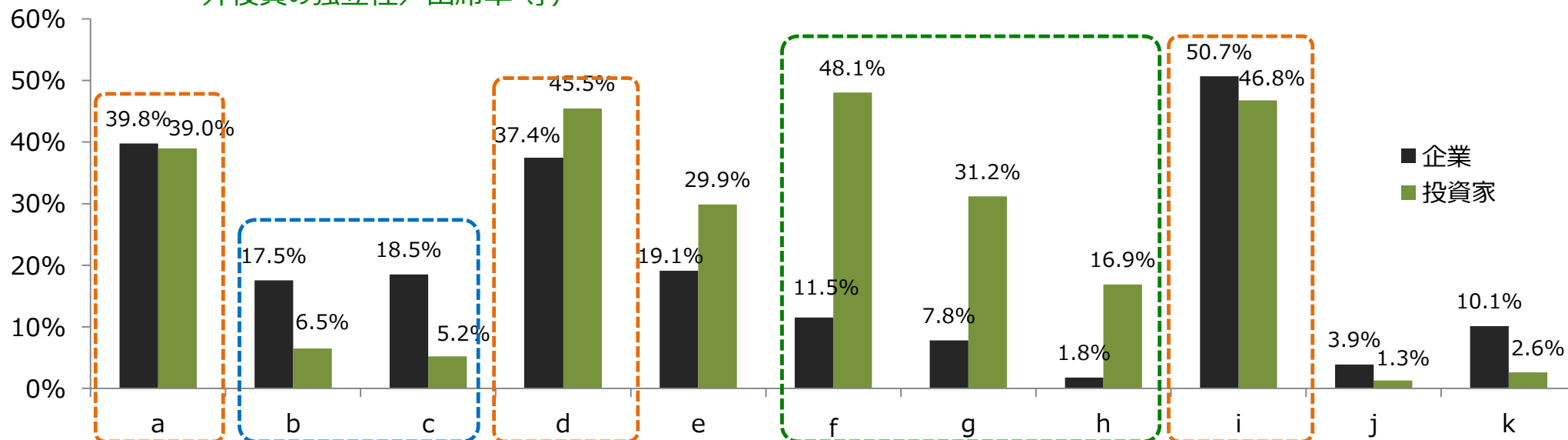
「財務戦略」「収益性」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「社外取締役関係」「買収防衛策」「不祥事等の対応」

- a. 経営戦略・事業戦略
- b. 収益性
- c. 財務戦略
- d. 株主還元
- e. E（環境）・S（社会）関係
- f. 社外取締役関係（社外取締役の人数、社外役員の独立性／出席率等）

- g. 買収防衛策
- h. 不祥事等の対応
- i. 情報開示
- j. その他（具体的には
- k. （企業）アクションを起こしていない（投資家）対話の効果を感じられない



(回答数【企業】:2018年度:513)
(回答数【投資家】:2018年度:77)

※複数選択から3つまで選択可へ変更

19. 深度ある「建設的な対話」を行うため、重要だと考えるテーマ (企業・投資家)

高い水準で一致

「経営戦略・ビジネスモデル」

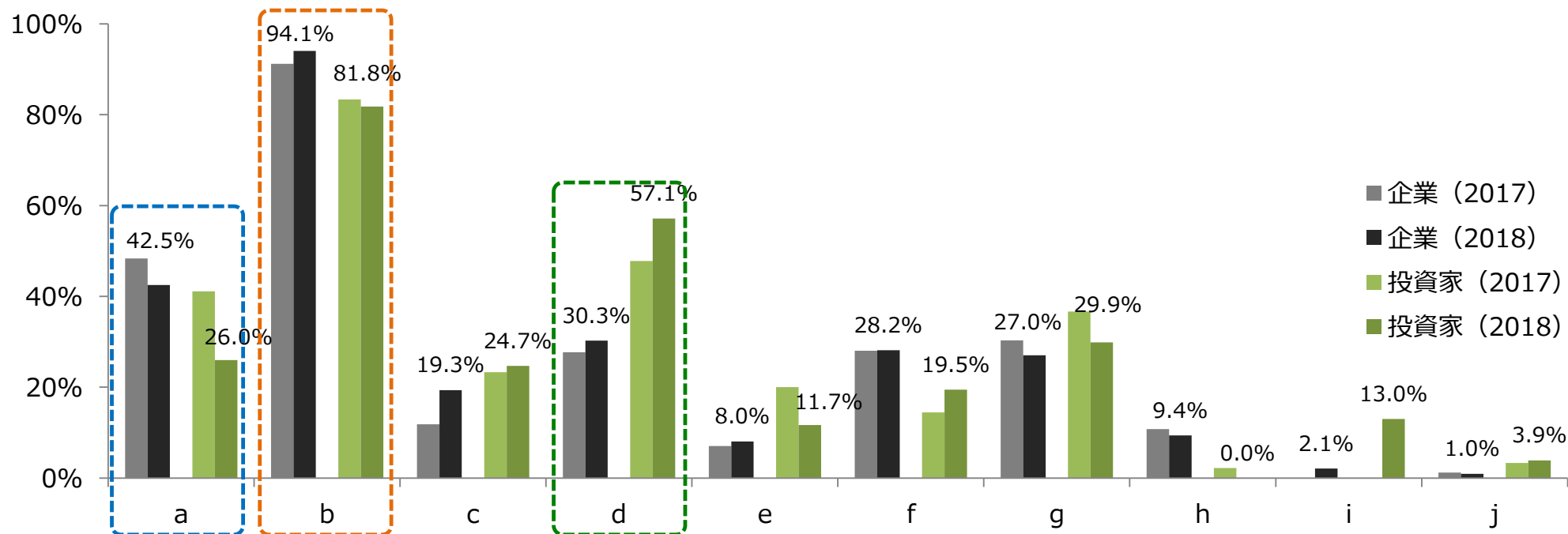
認識ギャップ大【企業 > 投資家】

「経営理念・ビジョン」

認識ギャップ大【企業 < 投資家】

「コーポレート・ガバナンス」

- a. 経営理念・ビジョン
- b. 経営戦略・ビジネスモデル
- c. 環境・社会課題への取り組み
- d. コーポレート・ガバナンス
- e. リスクマネジメント
- f. 財務戦略
- g. 株主還元
- h. IR戦略
- i. 政策保有株式
- j. その他（具体的には）



(回答数【企業】:2018年度:522, 2017年度:567)

(回答数【投資家】:2018年度:77, 2017年度:90)

20. 議決権行使を充実させる取り組み（企業） ／期待する取り組み（投資家）

高い水準で一致

「集中日を回避した株主総会の開催」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

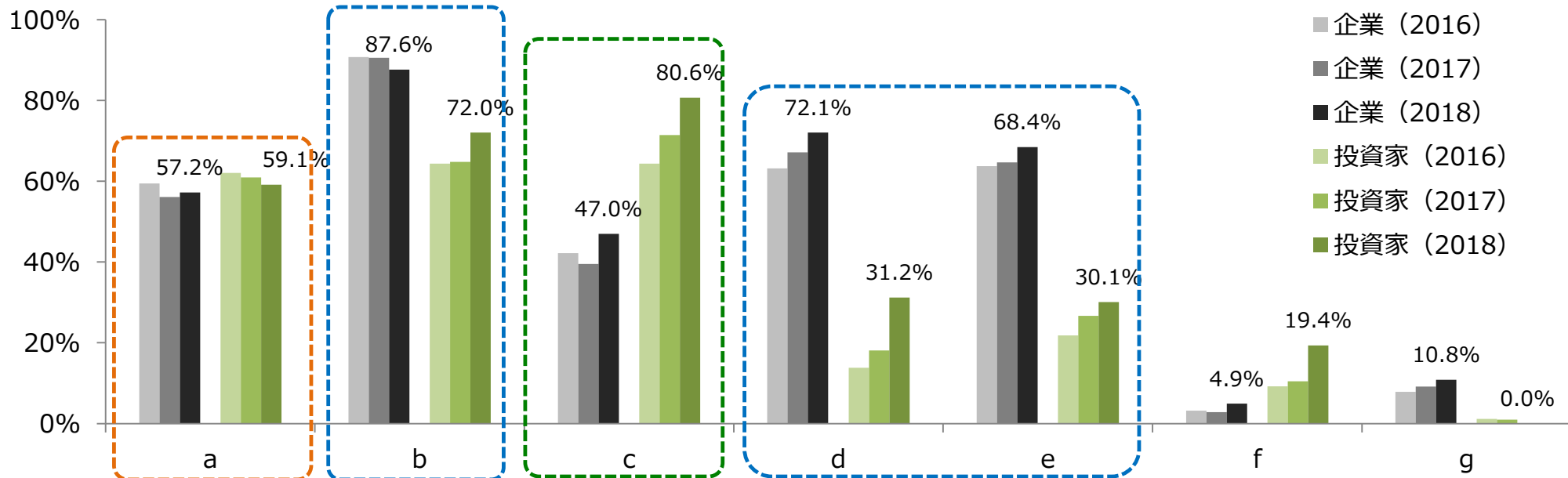
「招集通知の早期発送（早期開示）」
「インターネットによる議決権投票」
「議決権電子行使プラットフォームへの参加」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「議案の説明充実」

- a. 集中日を回避した株主総会の開催
- b. 招集通知の早期発送（早期開示）
- c. 議案の説明充実
- d. インターネットによる議決権投票

- e. 議決権電子行使プラットフォームへの参加
- f. 有価証券報告書の早期開示
- g. その他（具体的には



(回答数【企業】:2018年度:526, 2017年度:569, 2016年度:562)

(回答数【投資家】:2018年度:93, 2017年度:105, 2016年度:87)

21. 個別議案の説明（企業・投資家）

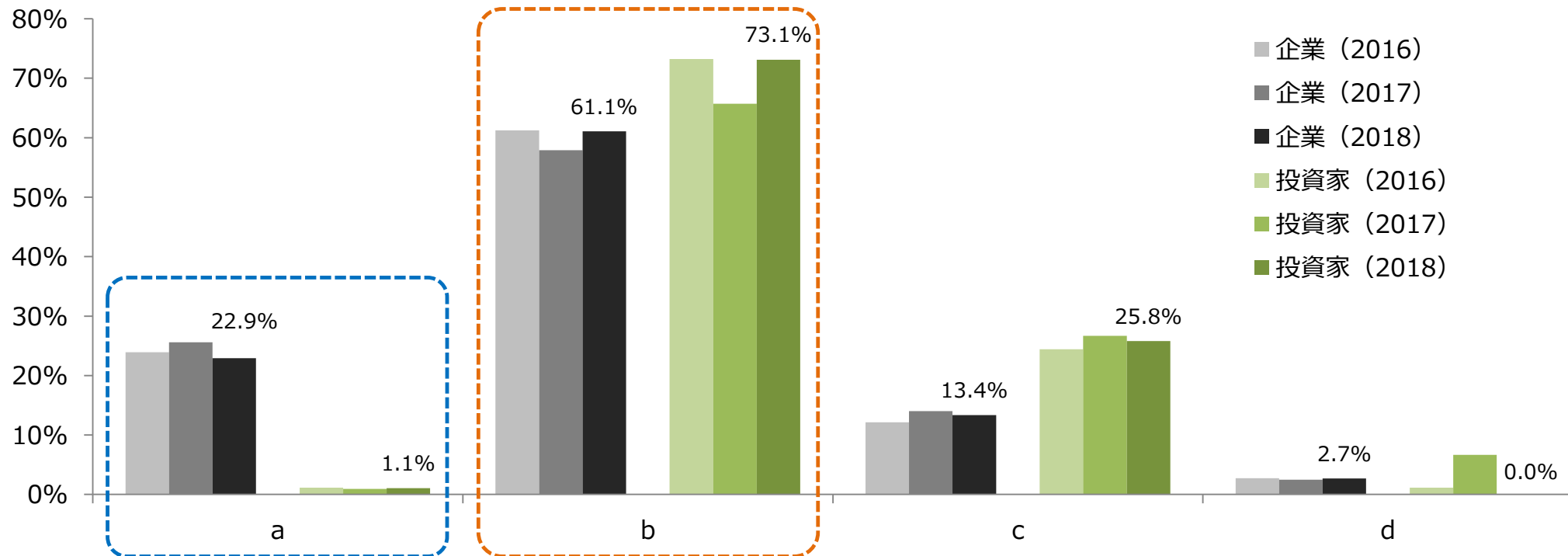
高い水準で一致

「一定程度説明している」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

「十分に説明している」

- a. 十分に説明している
- b. 一定程度説明している
- c. あまり十分とは言えない
- d. 説明は不十分



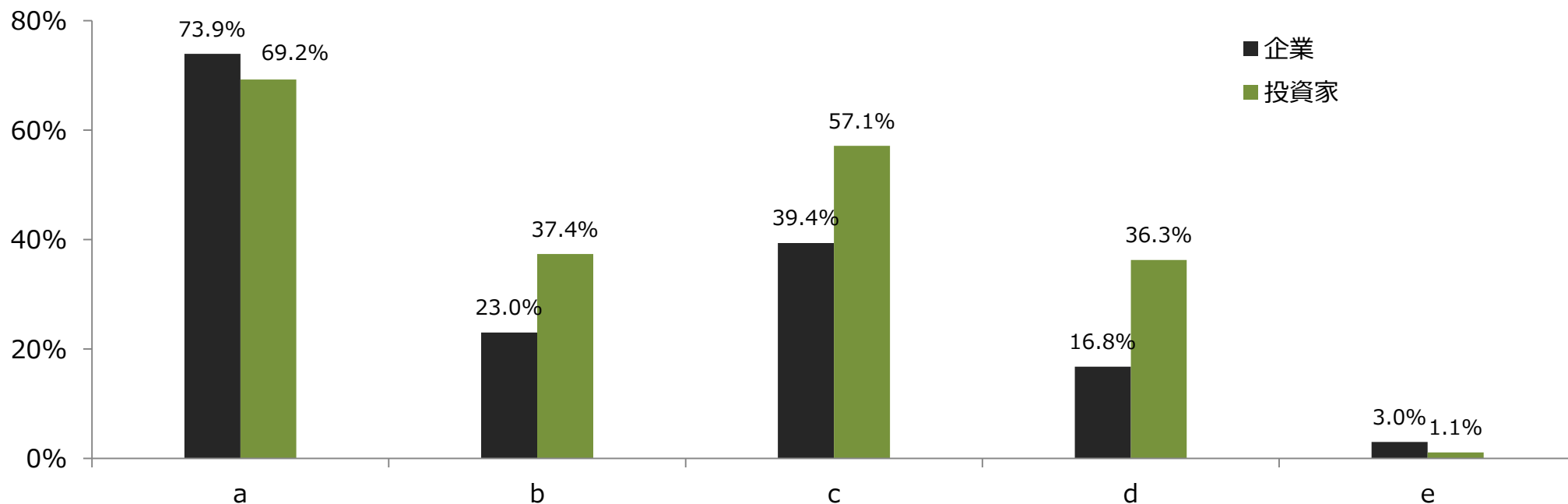
(回答数【企業】:2018年度:524, 2017年度:563, 2016年度:552)

(回答数【投資家】:2018年度:93, 2017年度:105, 2016年度:86)

22. 議案の説明充実に向けた取り組み（企業） ／期待する取り組み（投資家）

該当なし

- a. 招集通知の議案内容の説明充実
- b. 総会前の議案の事前説明の実施・充実
- c. 対話を通じた継続的なスタンスの説明
- d. ホームページ等を活用した議案の説明
- e. その他（具体的には ）



(回答数【企業】:2018年度:495)

(回答数【投資家】:2018年度:91)

23. 過年度に反対が多かった議案に対する取り組み（企業） ／期待する取り組み（投資家）

高い水準で一致

「反対理由の分析」

認識ギャップ大【企業＞投資家】

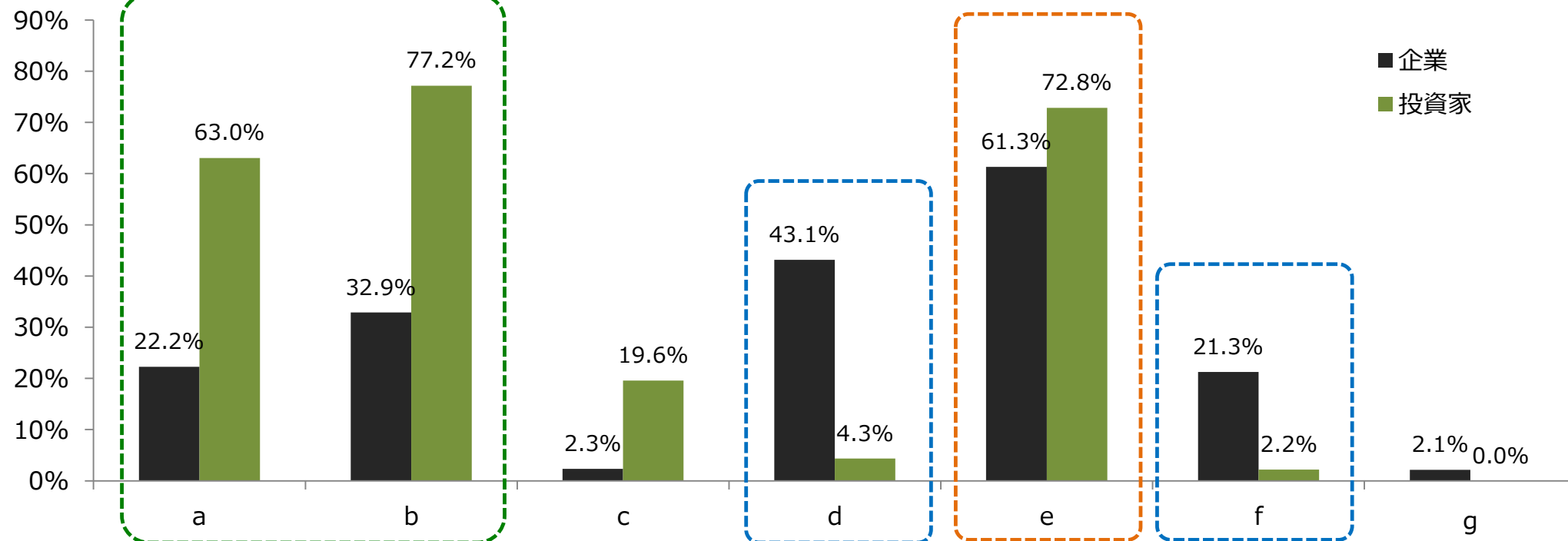
「反対株主の分析」「特段なし」

認識ギャップ大【企業＜投資家】

「投資家との対話」「招集通知書への説明充実」

- a. 招集通知書への説明充実
- b. 投資家との対話
- c. 議案の修正・取り下げ
- d. 反対株主の分析

- e. 反対理由の分析
- f. 特段なし
- g. その他（具体的には ）



(回答数【企業】:2018年度:517)

(回答数【投資家】:2018年度:92)